

2011年度事業報告

I 会員の異動状況

(2012年3月31日現在)

1. 会員の異動	前年度末	入会・就任	退会	物故者	現在数
			(会費滞納による退会を含む)		
(1)正会員	24,873名	802名	520名	36名	25,119名
(2)名誉会員	30名	2名	0名	0名	32名
(3)特別会員	46名	1名	0名	1名	46名
(4)国際名誉会員	19名	3名	0名	0名	22名
(6)賛助会員(法人)	80名	0名	2名	-	79名

2. 役員・職員の異動	前年度末	入会・就任	退会	物故者	現在数
(1) 理事	20名	1名	1名	0名	20名
(2) 監事	2名	0名	0名	0名	2名
(3) 幹事	19名	1名	1名	0名	19名
(4) 評議員	250名	9名	250名	0名	0名
(5) 正会員代表	200名	18名	200名	0名	0名
(6) 社員	0名	281名	0名	0名	281名
(7) 事務局職員	16名	3名	6名	0名	16名

3. 国際名誉会員

Jong-Hoa Bae (KOREA)	Sam-Soo Kim (KOREA)	John Ross Jr (USA)
A. John Camm (UK)	Spencer B. King, III (USA)	Patrick W. Serruys
Jay N. Cohn (USA)	Peter Libby (USA)	(Netherlands)
Anthony N. DeMaria (USA)	Thomas F. Luscher	Shahryar A Sheikh(Pakistan)
Kim Fox (UK)	(Switzerland)	Sidney C. Smith, Jr (USA)
Valentin Fuster (USA)	William John McKenna (UK)	Karl Swedberg (Sweden)
Tsui-Lieh Hsu (Taiwan)	Steven E. Nissen (USA)	A.Jamil Tajik (USA)
David T Kelly (Australia)	Ock-Kyu Park (KOREA)	James T Willerson III (USA)

4. 物故会員(敬称略)

(1)名誉会員 (該当無し)

(2)特別会員 福慶 逸郎

(3)一般会員

朝山 純	有方 一夫	有地 道輝	飯田 竹美	伊藤 倉雄	江頭 泰幸
大石 洋	岡田 安弘	野寺 勝紀	川崎 久郎	菊入 剛	窪 博道
小西 信哉	小林 利次	小松原有子	斉藤 公男	佐久間聖仁	佐々木俊輔
椎名 益男	清水 陽一	下地 悦朗	菅野 亮	杉原 正義	對馬 正樹
中嶋 美鐘	中村佳寿子	中村由紀夫	堀江 俊伸	前田 如矢	真島 三郎
榊村 純生	松崎 春樹	桃生 寛和	油井 泰雄	吉田 稔	吉松 博信

II 会議の事項

- (1)第 7 5 回 総 会 : 2 0 1 1 年 8 月 3 日 神 奈 川 県 ・ パ シ フ ィ コ 横 浜
- (2)理 事 会 : 2 0 1 1 年 6 月 2 4 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 1 年 1 0 月 2 8 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 2 年 1 月 2 0 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 2 年 3 月 1 5 日 福 岡 県 ・ ホ テ ル 日 航 福 岡
- (3)役員等選出委員会 : 2 0 1 2 年 3 月 1 6 日 福 岡 県 ・ 福 岡 サ ン パ レ ス
- (4)総務委員会 : 2 0 1 1 年 6 月 2 4 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 1 年 1 0 月 2 8 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 2 年 1 月 2 0 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 2 年 3 月 1 5 日 福 岡 県 ・ ホ テ ル 日 航 福 岡
- ・ 規 約 審 議 部 会 : 2 0 1 1 年 4 月 2 2 日 京 都 府 ・ (社) 日 本 循 環 器 学 会 事 務 局
- (5)財務委員会・監査会 : 2 0 1 1 年 6 月 14 日 京 都 府 ・ (社) 日 本 循 環 器 学 会 事 務 局
2 0 1 1 年 1 0 月 25 日 京 都 府 ・ (社) 日 本 循 環 器 学 会 事 務 局
2 0 1 2 年 1 月 10 日 京 都 府 ・ (社) 日 本 循 環 器 学 会 事 務 局
2 0 1 2 年 3 月 6 日 京 都 府 ・ (社) 日 本 循 環 器 学 会 事 務 局
- (6)予算委員会 : 2 0 1 1 年 1 2 月 12 日 大 阪 府 ・ ホ テ ル ラ フ ォ ー レ 新 大 阪
- (7)編集委員会 : 2 0 1 1 年 6 月 2 4 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 1 年 1 0 月 2 8 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 2 年 1 月 2 0 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 2 年 3 月 1 5 日 福 岡 県 ・ ホ テ ル 日 航 福 岡
- (8)学術委員会 : 2 0 1 1 年 6 月 24 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 1 年 1 0 月 28 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 2 年 1 月 20 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 2 年 3 月 1 5 日 福 岡 県 ・ ホ テ ル 日 航 福 岡
- (9)専門医制度委員会 : 2 0 1 1 年 6 月 2 4 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 1 年 1 0 月 2 8 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 2 年 1 月 2 0 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 2 年 3 月 4 日 東 京 都 ・ 東 京 ス テ ー シ ョ ン コ ン フ ェ レ ン ス
- ・ 専 門 医 編 集 委 員 会 : 2 0 1 1 年 6 月 2 4 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 1 年 1 0 月 2 8 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
- ・ 専 門 医 実 務 委 員 会 : 2 0 1 1 年 7 月 2 日 (社) 日 本 循 環 器 学 会 事 務 局
2 0 1 1 年 1 2 月 6 日 (社) 日 本 循 環 器 学 会 事 務 局
2 0 1 2 年 2 月 2 5 日 (社) 日 本 循 環 器 学 会 事 務 局
2 0 1 2 年 4 月 1 日 (社) 日 本 循 環 器 学 会 事 務 局
- ・ 認 定 試 験 委 員 会 (専 門 医 試 験 合 否 判 定) : 2 0 1 1 年 9 月 2 4 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
- (10)教育研修委員会 : 2 0 1 1 年 6 月 24 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 2 年 1 月 20 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
- (11)禁煙推進委員会 : 2 0 1 1 年 6 月 2 4 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 1 年 1 0 月 2 8 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 2 年 1 月 2 0 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
- (12)健保対策委員会 : 2 0 1 1 年 6 月 2 4 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 1 年 1 0 月 2 8 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 2 年 1 月 2 0 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 2 年 3 月 1 7 日 福 岡 県 ・ 福 岡 サ ン パ レ ス
- (13)心臓移植委員会 : 2 0 1 1 年 6 月 2 4 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム
2 0 1 1 年 1 0 月 2 8 日 東 京 都 ・ 東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム

- 2012年1月20日東京都・東京国際フォーラム
2012年3月15日福岡県・ホテル日航福岡
- ・ 適応検討小委員会 : (開催無し)
- (14)医療倫理委員会 : 2011年6月24日東京都・東京国際フォーラム
2012年1月20日東京都・東京国際フォーラム
2012年3月15日福岡県・ホテル日航福岡
- (15)情報広報委員会 : 2011年6月24日東京都・東京国際フォーラム
2012年3月15日福岡県・ホテル日航福岡
- (16)国際交流委員会 : 2011年4月17日東京都・東京国際フォーラム
2011年6月24日東京都・東京国際フォーラム
2011年10月28日東京都・東京国際フォーラム
2012年1月20日東京都・東京国際フォーラム
2012年3月15日福岡県・ホテル日航福岡
- (17)学術集会運営委員会 : 2011年6月24日東京都・東京国際フォーラム
2011年10月28日東京都・東京国際フォーラム
2012年1月20日東京都・東京国際フォーラム
2012年3月15日福岡県・ホテル日航福岡
- (18)学術集会プログラム委員会 : 2011年9月24日兵庫県・神戸国際会議場
2011年12月18日東京都・東京ステーションコンファレンス
- (19)用語委員会 : 2011年6月24日東京都・東京国際フォーラム
2012年3月15日福岡県・ホテル日航福岡
- (20)コメディカル委員会 : 2011年6月10日東京都・東京ステーションコンファレンス
2012年1月13日東京都・東京ステーションコンファレンス
- ・ コメディカル・プログラム部会 : 2011年5月17日大阪府・ホテルラフォーレ新大阪
- (21)循環器救急医療委員会 : 2012年3月15日福岡県・ホテル日航福岡
- ・ AED検討委員会 : 2011年11月1日東京都・東京ステーションコンファレンス
 - ・ 蘇生教育小委員会 : (開催無し)
 - ・ 循環器救急医療制度小委員会 : (開催無し)
 - ・ 蘇生科学小委員会 : 2011年4月23日京都府・日本循環器学会事務局
2011年7月14日東京都・東京ステーションコンファレンス
2012年3月15日福岡県・ホテル日航福岡
- (22)利益相反委員会 : 2011年6月24日東京都・東京国際フォーラム
2011年10月28日東京都・東京国際フォーラム
- (23)医道委員会 : 2011年4月9日東京都・東京国際フォーラム
- (24)男女共同参画委員会 : 2011年6月24日東京都・東京国際フォーラム
2011年10月28日東京都・東京国際フォーラム
2012年3月15日福岡県・ホテル日航福岡
- (25)調査委員会 : 2011年9月23日兵庫県・神戸ポートピアホテル
2011年10月9日東京都・ベルサール八重洲
2012年2月12日東京都・東京ステーションコンファレンス
- (26)医療安全委員会 : 2011年6月24日東京都・東京国際フォーラム
- (27)国内交流委員会 (開催無し)
- ・ ICD-CRT研修制度協議会 : 2012年1月6日東京都・東京国際フォーラム
- (28)事務局あり方検討委員会 : 2011年6月19日東京都・東京ステーションコンファレンス
2011年11月23日東京都・東京ステーションコンファレンス
2012年1月9日東京都・東京ステーションコンファレンス

●循環器学の研究及び振興を目的とする事業

①研究会・学術講演会の開催事業

1. 日本循環器学会年次学術集会

第75回日本循環器学会学術集会夏期開催(JCS2011)

会期：2011年8月3日(水)、4日(木)

会長：小川 聡(慶應義塾大学・国際医療福祉大学
三田病院)

会場：パシフィコ横浜

メインテーマ：

世界を先導する循環器病学をめざして

Design the Future in Cardiovascular Medicine

- (1) 一般演題(口述)
- (2) 美甘レクチャー：Michael D. Schneider (British Heart Foundation Centre of Research Excellence, National Heart and Lung Institute, Imperial College London, UK)
- (3) 真下記念講演：御子柴 克彦(理化学研究所 脳科学総合研究センター発生神経生物研究チーム)
- (4) 会長講演
- (5) 会長特別企画
 - ・ヒトiPS細胞由来心筋樹立による家族性突然死症候群の病態解明と治療法の確立
 - ・New Trends in Antithrombotic Therapy in Patients with Atrial Fibrillation
- (6) プレナリーセッション
- (7) シンポジウム
- (8) フォーカスセッション
 - ・日本心臓財団40周年記念事業：Cardio-Metabolic "Clock" and "Memory"
 - ・心不全における非薬物治療の進歩：Part I CRTの適応と治療効果判定
 - ・心不全における非薬物治療の進歩：Part II 重症心不全治療の現状と未来
- (9) 緊急シンポジウム：東日本大震災から学ぶー災害医療の在り方ー
- (10) 第39回循環器教育セッション
- (11) 日本心臓財団佐藤賞記念講演
- (12) 第10回医療安全・医療倫理に関する講演会：専門医の立場から医療事故を考える

第76回日本循環器学会学術集会(JCS2012)

会期：2012年3月16日(金)～3月18日(日)

会長：鄭 忠和(鹿児島大学大学院循環器・呼吸器・代謝内科学)

会場：福岡国際会議場、福岡サンパレス、マリメッセ福岡、福岡国際センター(福岡市)

メインテーマ：

愛と情熱ーアジアから世界へー

Love and Passionーfrom Asia to the Worldー

- (1) 一般演題(口述、ポスター、Featured Research Session)

- (2) 美甘レクチャー：Pravin M. Shah (Hoag Heart Valve Center, USA)
- (3) 真下記念講演：鈴木 章(北海道大学名誉教授)
- (4) 100歳記念講演：日野原重明(聖路加国際病院)
- (5) 特別講演
- (6) 招待講演
- (7) 会長講演
- (8) 会長特別企画
 - ・久山町研究50周年記念シンポジウム
 - ・16th Asia-Pacific Congress in Doppler Echocardiography 同時開催
 - ・Asian Joint Case-Conference
- (9) プレナリーセッション
- (10) シンポジウム
- (11) ジョイントシンポジウム(AHA, ACC, ESC, KSC)
- (12) ラウンドテーブルディスカッション
- (13) トピック
- (14) コントロバーシー
- (15) ミート・ザ・エキスパート
- (16) スペシャルモーニングレクチャー
- (17) モーニングレクチャー
- (18) Late Breaking Clinical Trials
- (19) 第40回循環器教育セッション
- (20) 日本心臓財団佐藤賞記念講演
- (21) 審査講演会
 - Young Investigator's Award審査講演
 - 国際留学生YIA審査講演
 - 第2回コメディカル賞審査講演会
- (22) ガイドラインに学ぶ1～5
- (23) ガイドライン解説1
- (24) 循環器疾患診療実態調査報告会
- (25) 第8回心臓移植セミナー
- (26) 保険医療セミナー
- (27) 第2回海外留学生セミナー
- (28) 第11回医療安全・医療倫理に関する講演会
- (29) 第11回禁煙推進セミナー
- (30) 日本循環器学会蘇生科学シンポジウム
- (31) 第2回男女共同参画委員会セッション
- (32) コメディカルセッション
- (33) メディカル・コメディカルジョイントシンポジウム
- (34) 国際セミナー in Kagoshima
- (35) サテライトセミナー(ランチョンセミナー、ファイアサイドセミナー)：会期中3日間
- (36) 機器・書籍展示

2. プレレジストレーション

国内の参加者向けに、参加登録、教育セッション、ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションをオンライン上で行った。

3. 印刷物・製作物

学術集会関連の印刷物・制作物として以下のものを製作した。

抄録CD, プログラム, 教育セッションテキスト, コメディカルプログラム抄録集, ピンバッジ, 英文パンフレット

4. MyAbstracts

抄録CDに掲載されている演題および共催セミナー抄録を検索し, 必要な演題の抄録だけを収録したオリジナル抄録集や日程表が作成できるサービスをオンライン上で行った。

5. トラベル grant

海外からの演題採択者への補助として筆頭著者にトラベル grant を支給した。支給金額は中国, 香港, 台湾, 韓国は5万円, その他の国は10万円とした。

6. プレエントリー

学術集会発表スライドを会期前にWEBサイトで事前アップロードするための「プレエントリーシステム」を公開した。

7. 託児室

学術集会会期中に参加者に対して臨時託児室を設置した。

8. 日本循環器学会ブースの出席

第76回学術集会の期間中, 展示会場にて学会活動紹介のための日本循環器学会ブースを出展した。

9. 日本循環器学会地方学術集会

第105回北海道地方会

会期: 2011年6月11日(土)
会場: 札幌市教育文化会館(札幌市)
会長: 松居 喜郎(北海道大学循環器外科)
参加人数: 326
発表演題: 38

第106回北海道地方会

会期: 2011年9月10日(土)
会場: 北海道文化活動センターかでの27(札幌市)
会長: 三浦 哲嗣(札幌医科大学医学部内科学第二講座)
参加人数: 315
発表演題: 55

第152回東北地方会

東日本大震災のため, 中止

第153回東北地方会

会期: 2011年12月3日(土)
会場: 仙台サンプラザ(仙台市)
会長: 竹石 恭知(福島県立医科大学医学部循環器・血液内科学講座)
参加人数: 200
発表演題: 160

第220回関東甲信越地方会

会期: 2011年6月4日(土)

会場: 東京慈恵医科大学 大学1号館講堂(港区)
会長: 武田 信彬(東京慈恵会医科大学附属青戸病院内科)
参加人数: 879
発表演題: 103

第221回関東甲信越地方会

会期: 2011年9月10日(土)
会場: 東京ステーションコンファレンス(千代田区)
会長: 伊莉 裕二(東海大学医学部内科学系循環器内科学)
参加人数: 911
発表演題: 100

第222回関東甲信越地方会

会期: 2011年12月3日(土)
会場: 東京ステーションコンファレンス(千代田区)
会長: 櫻田 春水(東京都立広尾病院循環器科)
参加人数: 997
発表演題: 130

第223回関東甲信越地方会

会期: 2012年2月4日(土)
会場: 東京ステーションコンファレンス(千代田区)
会長: 平山 篤志(日本大学医学部内科学講座循環器内科部門)
参加人数: 未定
発表演題: 未定

第137回東海地方会

会期: 2011年6月18日(土)
会場: 名古屋国際会議場(名古屋市)
会長: 神谷 香一郎(名古屋大学環境医学研究所心・血管分野)
参加人数: 697
発表演題: 140

第122回北陸地方会

会期: 2011年7月3日(日)
会場: 石川県地場産業振興センター(金沢市)
会長: 金谷 法忍(石川県立中央病院循環器内科)
参加人数: 277
発表演題: 64

第138回東海・第123回北陸合同地方会

会期: 2011年11月5日(土)
会場: 名古屋国際会議場(名古屋市)
会長: 湊口 信也(岐阜大学循環病態学呼吸病態学・第二内科)
参加人数: 825
発表演題: 201

第111回近畿地方会

会期: 2011年6月25日(土)
会場: 神戸国際会議場(神戸市)
会長: 平田 健一(神戸大学大学院医学研究科内科学講座循環器内科学分科)
参加人数: 1179
発表演題: 217

第112回近畿地方会

会期: 2011年11月26日(土)
会場: 京都テルサ(京都市)
会長: 松原 弘明(京都府立医科大学医学研究科循環器内科)
参加人数: 288
発表演題: 1196

第98回中国・四国合同地方会

会期：2011年5月13日(金)～2011年5月14日(土)

会場：あわぎんホール(徳島市)

会長：佐田 政隆(徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究センター内科学分科)

参加人数：659

発表演題：240

第99回中国地方会

会期：2011年11月26日(土)

会場：海峡メッセ下関(下関市)

会長：藤井 崇史(山口県立総合医療センター)

参加人数：139

発表演題：430

第99回四国地方会

会期：2011年12月10日(土)

会場：高知城ホール(高知市)

会長：瀬尾 宏美(高知大学医学部附属病院総合診療部)

参加人数：未定

発表演題：未定

第110回九州地方会

会期：2011年6月25日(土)

会場：アクロス福岡(福岡市)

会長：池田 久雄(久留米大学医学部総合医療センター循環器内科)

参加人数：831

発表演題：106

第111回九州地方会

会期：2011年12月3日(土)

会場：アクロス福岡(福岡市)

会長：田代 忠(福岡大学心臓血管外科)

参加人数：722

発表演題：123

10. 学会賞

第37回日本心臓財団佐藤賞

選考委員長 鄭 忠和(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科循環器・呼吸器・代謝内科学)

受賞者

佐野 元昭(慶應義塾大学医学部 循環器内科)
心血管系疾患の分子病態解明

第29回Young Investigator's Award

選考委員長 水野 杏一(日本医科大学内科学講座(循環器・肝臓・老年総合病態部門))

最優秀賞

小林 徹(群馬大学大学院 小児科学分野)
Efficacy of Immunoglobulin plus Prednisolone for Prevention of Coronary Artery Abnormalities in Severe Kawasaki Disease: a Prospective, Randomised, Open, Blinded-Endpoint Trial

優秀賞

江口 航生(東京大学医学部附属病院 循環器内科)

Saturated Fatty Acid and TLR Signaling Link β Cell Dysfunction and Islet Inflammation

佐々木 直人(神戸大学医学部附属病院 循環器内科)

A Novel Ultraviolet-Based Phototherapy against Atherosclerosis Targeting Regulatory T Cells and Skin Dendritic Cells

有田 陽(大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学)

Angiotensin-1 is Critical for Coronary Vasculogenesis in the Developing Heart

香月 俊輔(九州大学大学院医学研究院 循環器内科学)

Nanoparticle-Mediated Delivery of Pitavastatin Inhibits Plaque Destabilization and Rupture in the Brachiocephalic Arteries of ApoE-Deficient Mice through Regulating Monocyte/Macrophage Activation

第10回国際留学生Young Investigator's Award

選考委員長 室原 豊明(名古屋大学 循環器内科学)

最優秀賞

XIAOXIANG YAN(慶應義塾大学医学部 循環器内科)

IL-17 Produced from $\gamma \delta$ T cells Promote Left Ventricular Remodeling after Myocardial Infarction

優秀賞

FLORI RATNA SARI(新潟薬科大学 薬学部・臨床薬理学)

Exacerbation of Endoplasmic Reticulum Stress-Related Maladaptive Cardiac Remodeling in Pressure-Overloaded Dominant Negative 14-3-3eta Mice

LINA HU(名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学 老年科学)

Cathepsin K Deficiency Suppresses the Development of Experimental Intimal Hyperplasia in Response to Injuries

ADA CONGRAINS CASTILLO(大阪大学医学部 老年腎臓内科学)

CVD-Associated Non-Coding RNA, ANRIL, Modulates Expression of Apoptosis and Proliferation Pathways in VSMC

NUR ARFIAN(神戸大学医学部 循環器内科)

Targeting Endothelin-1 ET_AR Interaction by Endothelial Cell-Derived Endothelin-1 Deletion Attenuates Kidney Fibrosis via Reducing Pericyte to Myofibroblast Transition and Capillary Loss

第20回CPIS賞

選考委員長 永井 良三(東京大学 循環器内科)
受賞者

小出 正洋(京都府立医科大学 循環器内科)
Apoptosis Regulator Through Modulating IAP Expression (ARIA) Controls the PI3K/Akt Pathway in Endothelial and Endothelial Progenitor Cells

第7回心臓血管外科賞

選考委員長 許 俊鋭(東京大学 重症心不全治療開発講座/東京都健康長寿医療センター心臓外科)

受賞者

今西 悠基子(大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 心臓血管外科)
Induced Adipocyte Cell-Sheet Ameliorates Cardiac Dysfunction in a Mouse Myocardial Infarction Model: A Novel Drug Delivery System for Heart Failure

第7回小児循環器賞

選考委員長 丹羽 公一郎(聖路加国際病院心血管センター 循環器内科)

受賞者

清水 秀二(国立循環器病研究センター研究所 循環動態制御部)
Norwood Procedure with Non-Valved Right Ventricle to Pulmonary Artery Shunt Improves Ventricular Energetics despite the Presence of Diastolic Regurgitation: a Theoretical Analysis

第6回循環器再生医科学賞

選考委員長 松原 弘明(京都府立医科大学 循環器内科学)

受賞者

・基礎研究部門

湯浅 慎介(慶應義塾大学医学部 循環器内科)
G-CSF Influences Mouse Skeletal Muscle Development and Regeneration by Stimulating Myoblast Proliferation

・臨床研究部門

出井 尚美(広島大学大学院医歯薬総合研究科 展開医科学専攻 循環器内科学)
Autologous Bone-Marrow Mononuclear Cell

Implantation Reduces Long-Term Major Amputation Risk in Patients with Critical Limb Ischemia: A Comparison of Atherosclerotic Peripheral Arterial Disease and Buerger Disease

第5回女性研究者奨励賞

選考委員長 下川 宏明(東北大学循環器内科学)
受賞者

大塚 マリアナ 今日美(大阪大学大学院医学系研究科 老年・腎臓内科学)
Cross-Talk of RANKL Signaling with Renin-Angiotensin II System in Vascular Calcification and Remodeling

第1回循環器臨床研究奨励賞

選考委員長 小川 久雄(熊本大学大学院生命科学部 循環器病態学)

受賞者

・臨床研究部門

東 幸仁(広島大学原爆放射線医科学研究所 心臓血管再生医学)
動脈硬化と血管内皮機能：病態，治療，バイオマーカーから新規測定装置開発まで

・症例報告部門

最優秀賞

星 智也(筑波大学医学医療系 循環器内科)
Fatal Ostial Right Coronary Artery Coronary Stent Fracture and Perforation Induced by Mechanical Stress between the Sternum and Dilated Aortic Root

優秀賞

田中 秀和(神戸大学大学院医学研究科 循環器内科学)

Exercise-Induced Left Bundle Branch Block and Subsequent Mechanical Left Ventricular Dyssynchrony -Resolved with Pharmacological Therapy

優秀賞

永井 啓行(愛媛大学大学院 病態情報内科学)
Large Thrombus Originating from Left Atrial Diverticulum: A New Concern for Catheter Ablation of Atrial Fibrillation

第8回Circulation Journal Award

選考委員長 下川宏明(東北大学 循環器内科学)
受賞者

Clinical Investigation部門

最優秀賞

小林 宣明(日本医科大学 千葉北総病院)

集中治療室)
Matrix Metalloproteinase-9 for the Earliest
Stage Acute Coronary Syndrome
—Comparison With High-Sensitivity Tro-
ponin T—
(Circ J 2011; 75: 2853 – 2861)

優秀賞

柴 信行(国際医療福祉大学病院 循環器内
科)
Trend of Westernization of Etiology and
Clinical Characteristics of Heart Failure
Patients in Japan—First Report From the
CHART-2 Study—
(Circ J 2011; 75: 823 – 833)

Experimental Investigation部門

最優秀賞

HaiQiong Huang, MD, Ph.D
(Department of Anesthesiology, Zhongshan
Hospital affiliated with Fudan University,
Shanghai)
Activation of Endothelin-1 Receptor Signal-
ing Pathways Is Associated With Neointima
Formation, Neovascularization and Irrevers-
ible Pulmonary Artery Hypertension in Pa-
tients With Congenital Heart Disease
(Circ J 2011; 75: 1463 – 1471)

優秀賞

Jie Han, PhD
(The First Affiliated Hospital, College of
Medicine, Zhejiang University)
Alteration of Enzyme Expressions in Me-
valonate Pathway—Possible Role for Cardio-
vascular Remodeling in Spontaneously Hy-
pertensive Rats—
(Circ J 2011; 75: 1409 – 1417)

第2回コメディカル賞

選考委員長 青沼 和隆(筑波大学 循環器内科
学)

最優秀賞

露木 和夫(小田原循環器病院)
「1分間トレッドミル歩行による維持透析患者
の運動負荷ABI試験」

優秀賞

齊藤 圭子(北里大学病院 看護部)
「日本語版ニーチャム混乱・錯乱状態スケール
(J-NCS)行動サブスケールの検討
～見当識が良好な循環器疾患入院患者での危険
行動予測に有用か?」

神谷 健太郎(北里大学病院 心臓リハビリテ-
ーション室)
「回復期心臓リハビリテーションは退院時BNP
高値の慢性心不全患者においても心不全による
再入院を防止する」

奨励賞

沼 志志(岡山ハートクリニック 看護部)
「当院でのPVI施行時の鎮静と呼吸管理につい
て・看護側からのアプローチ」

長谷川 恵美子(聖学院大学 人間福祉学科)
「心臓リハビリテーションにおける精神症状の
スクリーニングおよび支援システムの検討」

高橋 正司(県立広島病院 放射線診断科)
「64列MDCTによる非造影カテーテルアプレー-
ション治療支援画像の検討」

②学会学術誌, 学術論文集, その他出版物の刊行事業

I. Circulation Journal刊行

- (1) Circ. J. Vol.75 2011年は12冊2,970頁, 平均発行
部数約18,900部, 原著投稿論文354件2,915頁
(98%), その他71頁(2%)を掲載.
- (2) 2011年の投稿論文は, 受付1,555件(内有効論文
1,502件), 内2012年3月7日現在までの原著投
稿論文採用は235件, 不採用902件, 採択率は
20.7%であった. 査読にはEditorial Boardを含
め838名(12号掲載)がその任務にあたった.
- (3) 2012年の投稿論文は, 2012年3月7日現在ま
での受付316件(内有効論文306件)であった.
- (4) 2010年のImpact factorは, 3.225であった.
- (5) Circ. J. Supplementは(2,921頁, 平均発行部数
23,400部), 年次学術集会英文抄録2,921件を掲
載した.
- (6) AHA開催期間中に, Associate Editor,
International Associate Editor, International
Advisory Boardのメンバーを招待し, 出席者
33名で第2回国際編集会議を開催した.
- (7) Best Reviewers of the Year 2011

浅沼 博司(京都府立医科大学 先進循環器病治療学)
真田 昌爾(大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学)
石井 秀樹(名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学)
庭野 慎一(北里大学医学部 循環器内科学)
小島 淳(熊本大学大学院生命科学研究部 循環器病態学)
古川 哲史(東京医科歯科大学難治疾患研究所 生体情報薬理)
藤木 明(静岡赤十字病院 循環器科)

Paul Schoenhagen (Cleveland Clinic Cardiovascular Imaging)
里見 和浩(国立循環器病研究センター 内科・心臓部門)
甲斐 久史(久留米大学医学部 心臓・血管内科学部門)
高野 雅充(日本医科大学千葉北総病院 循環器内科)
石原 正治(広島市立広島市民病院 循環器科)
土谷 健 (EP Expert Doctors-Team Tsuchiya)

小谷 順一(国立循環器病研究センター 心臓内科部門)
上松 正朗(労働者健康福祉機構 関西労災病院 循環器内科)
山本 一博(鳥取大学医学部 病態情報内科学)
阿南 隆一郎(川内市医師会立市民病院 循環器内科)
高橋 尚彦(大分大学医学部 臨床検査・診断学講座)
中里 祐二(順天堂大学医学部附属浦安病院 循環器内科)
渡辺 弘之(榊原記念病院 循環器内科)

2. 循環器学用語の検討

循環器学用語の改定について、会員及び関係学会からの意見を踏まえて検討した。またWHO・厚生労働省から依頼を受けているICD-11作成作業では、関係分野の学会と協力して作業グループを組織し、実務作業を開始した。

3. 会告刊行

会告2011 No.1～No.6を発行した。

4. 地方会抄録

地方会抄録オンライン検索システム「症例くん」を運営した。

5. 学会ニュースメールの配信

会員向けに学会からのお知らせなどを掲載したニュースメール「JCS News Letter」を配信した。

③学術研究助成事業

1. 循環器疾患診療実態調査

全国の循環器科・心臓血管外科を標榜する3,791施設に調査依頼を行い、Webを用いて調査を行った。調査対象期間は2010年1月1日～12月31日の1年間で、1,633施設(43.1%)から回答が寄せられた。第76回学術集会では過去7年間の歩みと調査を用いた報告がワーキンググループから行われた。

2. 学術研究班

1. カテーテルアブレーションの適応と手技に関するガイドライン
(班長：奥村 謙)
2. 小児期心疾患における薬物療法ガイドライン
(班長：佐地 勉)
3. 肺高血圧症治療ガイドライン(改訂版)
(班長：中西 宣文)
4. 虚血性心疾患の一次予防ガイドライン(改訂版)
(班長：島本 和明)
5. 急性冠症候群の診療に関するガイドライン(改訂版)
(班長：木村 剛)
6. 肥大型心筋症の診療に関するガイドライン(改訂版)
(班長：土居 義典)
7. 弁膜疾患の非薬物治療に関するガイドライン

(改訂版)

(班長：大北 裕)

8. 心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン(改訂版)
(班長：野原 隆司)
9. QT延長症候群(先天性・二次性)とBrugada症候群の診療に関するガイドライン(改訂版)
(班長：青沼 和隆)
10. 失神の診断・治療ガイドライン(改訂版)
(班長：井上 博)
11. 先天性心疾患術後遠隔期の管理・侵襲的治療に関するガイドライン(改訂版)
(班長：越後 茂之)
12. 肺高血圧症治療ガイドライン(改訂版)
(班長：中西 宣文)
13. 虚血性心疾患の一次予防ガイドライン(改訂版)
(班長：島本 和明)
14. 重症心不全に対する植込み型補助人工心臓治療ガイドライン
(班長：許 俊鋭)
15. 血管機能の非侵襲的評価法に関するガイドライン
(班長：山科 章)
16. 慢性肺動脈血拴塞栓症に対するballoon pulmonary angioplastyの適応と実施法に関するワーキンググループ
(主査：伊藤 浩)

3. ガイドライン作成

2009-2010年度活動の新規1班と2010年度活動の改訂版9班のガイドラインについて、オリジナル版とダイジェスト版を作成し、『循環器病の診断と治療に関するガイドライン2011』としてホームページ上に公開した。また、第76回学術集会時に「ガイドライン解説」および「ガイドラインに学ぶ」セッションを開催する。

4. ガイドラインダイジェスト版の英訳化

既存のガイドラインのうち次の5班と1ステートメントを英訳化してホームページに掲載した。『24時間血圧計の使用(ABPM)基準に関するガイドライン』
『禁煙ガイドライン』
『心臓突然死の予知と予防法のガイドライン』
『心疾患患者の妊娠、出産の適応、管理に関するガイドライン』
『心臓核医学検査ガイドライン』
『心房細動における抗血栓療法に関する緊急ステートメント』

5. ガイドラインダイジェスト版ポケット版の作成
臨床現場での利便性を考慮し、ガイドラインダイジ

エスト版をポケットサイズとして作成し、第76回学術集会にて無料配布した。

6. Translational Research振興事業

臨床応用・実用化にある最先端の基礎的研究や translational researchについて、我が国の先進医学研究に寄与することを目的に、以下2件の研究支援助成を行った。2009年度に採択した1件および2010年度に採択した1件についても研究支援助成を行った。

・ES/iPS細胞心筋分化システムを用いた新しい心筋分化再生治療薬の開発

研究代表者：

山下 潤(京都大学再生医科学研究所)

・血管形成術における核酸医薬溶出バルーンおよびステントの安全性と有用性の検討

研究代表者：

磯部 光章(東京医科歯科大学 循環制御内科学)

7. 大規模臨床試験の後援

我が国独自のエビデンスを構築するため新しい大規模臨床試験を計画し、あるいは医師主導型臨床試験を支援する。

・拡張期心不全の治療法確立のための大規模臨床試験(J-DHF Study：主査 堀 正二)

・動脈硬化性疾患危険因子を有する高齢者に及ぼすアスピリンの一次予防効果に関する研究(JPPP：主査 池田 康夫)

・耐糖能異常症例における食後高血糖改善による心筋梗塞再発予防に関する研究(ABC Study：主査 北風 政史)

・日本人における動脈硬化性大動脈弁膜疾患の発症・進展予防に関する研究(JASS：主査 山本 一博)

・虚血性心疾患に対する外来型心臓リハビリテーションの有効性に関する多施設前向き登録研究(J-REHAB：主査 後藤 葉一)

・周産期(産褥)心筋症の発症に関する登録研究(PPCM registration：主査 池田 智明)

・急性心筋梗塞に対する治療の現状とその効果の実態調査(NCVC-AM：主査 小川 久雄)

8. 心原性ショックに関するレジストリ

蘇生科学小委員会が主導して行う、2011年4月から開始予定であった心原性ショックに関するレジストリは、東日本大震災の影響により開始時期を2012年4月からに延期した。今期は登録のための準備作業を行った。

9. 留学支援助成

学術集会の発展・医学研究の振興を願って、海外留学する循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者の経済的支援を目的に以下1件の留学支援助成

を行った。

・ゲノムワイド関連解析による脂質異常症の解析および安定同位体を使用したその機能解析

多田 隼人(金沢大学附属病院 循環器内科)

10. 循環器臨床研究助成

我が国の循環器臨床のレベルを向上させることが期待される喫緊の臨床研究に対する研究助成を通じて、学術集会の発展、循環器臨床研究の振興を図ることを目的に「循環器臨床研究助成」を行った。

・東日本大震災避難所・仮設住宅における遠隔血圧モニタリングシステムの臨床への応用

菊尾 七臣(自治医科大学内科学講座循環器内科学)

・人口180万人における心筋梗塞および心原性院外心肺停止症例の全例登録データに基づいた横断的解析～日本における心筋梗塞登録事業の立ち上げを目指して～

小島 淳(熊本大学医学部附属病院高度医療開発センター 心不全先端医療寄附講座)

11. 国内交流事業

・心筋生検研究会・日本睡眠学会・日本呼吸器学会より、ジョイントシンポジウム開催の申請があり、いずれも承諾した。

・第2回ICD-CRT研修制度協議会が開催され、セミナーの運用等が検討された。

④国際交流事業

1. 国際交流事業

・海外学会へのブース出展ESC・AHAへブース出展を行った。

・海外学会との共同シンポジウムの開催ESCと共同シンポジウムを開催した。

・国際名誉会員

4名の新規国際名誉会員の選定を行った。

・ESCとReciprocal Agreementの提携を行った。

●循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

①循環器専門医事業

1. 循環器専門医事業

(1) 循環器専門医認定のための第22回循環器専門医試験を2011年8月28日、東京国際フォーラム(東京)、梅田スカイビル(大阪)の2会場で実施した。認定者は410名(2012年4月1日認定)。

(2) 2012年4月1日に循環器専門医資格を更新予定の循環器専門医1,720名の認定更新(2012年4月1日更新)が承認された。

(3) 循環器専門医・専門医を目指す会員の臨床研修のための研修施設・研修関連施設の指定および指定更新審査を行った。新たに研修51施設、研

修関連46施設を指定し、更新は研修546施設、研修関連112施設を指定した。

- (4) 『循環器専門医』刊行：専門医編集委員会からVol.19 No.1(震災の影響により、2011年4月25日に発刊延期)、Vol.19 No.2、Vol.20 No.1を出版した。Vol.19 No.2は特集「第75回日本循環器学会学術集会」、Vol.20 No.1は特集I「基礎科学の進歩」特集II「第75回日本循環器学会学術集会」

※(2)の更新者は2012年3月15日までに更新に必要な条件を充足された方のみとなります。残りの対象者については現在審査中です。

②循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. 第7回循環器専門医を志す研修医のための卒後セミナーの企画・開催

2011年12月4日(日)大手町サンケイプラザにて、主に研修医を対象に、循環器学の面白さをレクチャー、ディベート、グループ討論などを通じて伝えるセミナーを開催した。

2. 卒後教育研修用DVDの製作・販売

学会員の知識、技能の向上をはかることにより、国民の健康に資するため「循環器研修ビジュアルシリーズ」「第39回循環器教育セッションDVD」「第40回循環器教育セッションDVD」の製作・販売を行った。

3. 学術集会DVD

第76回学術集会の講演内容を会期後に視聴研修していただくことを目的に、講演内容を収録したDVDを製作・販売する。

4. 心肺蘇生法普及活動

次の各講習会を全国で開催する。

- (1) AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース
- (2) AHA ACLSプロバイダーコース
- (3) AHAハートセイバーAEDコース

受講者募集活性化のため、コース案内のホームページのデザイン変更、受講者管理システムの改修などのリニューアルを行った。

また、インストラクター養成のため次の各講習会を開催した。

- (1) AHAコアインストラクターコース
- (2) AHA BLSインストラクターコース
- (3) ガイドライン2010に沿った各種テストコース

5. コメディカルセミナーの開催

循環器系コメディカルスタッフへの教育・啓発を目的として、第1回コメディカルセミナーを開催した。
日時：2011年8月13日(土)10:00~18:25
会場：東京コンファレンスセンター品川

テーマ：スペシャリストが教える読める心電図

— 明日から役立つ心電図 A to Z —

6. 男女共同参画委員会セミナーの開催

第1回男女共同参画委員会セミナー「女性循環器医の仕事と子育てとの両立を目指して：私の体験」を2011年9月11日に大阪梅田センタービルで開催した。

●循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

①心臓移植等にかかる事業

1. 心臓移植等に関する事業

- (1) 心臓移植に関連する各学会・研究会とともに、心臓移植実施施設の認定に関する審査・検討を開始した。
- (2) 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出した。
- (3) 将来各心臓移植実施施設主体での適応検討体制に移行する準備として、移植実施施設の委員を追加した。大阪大学、国立循環器病研究センター、東京大学からの申請症例を検討するグループと3施設以外の申請症例および小児症例を検討する4グループで対応している。
- (4) 心臓移植および心肺同時移植の適応検討を行った。

②社会への広報・啓発事業

1. プレスセミナーの開催

一般市民への啓発を目的として、プレスを対象としたセミナーを開催した。セミナーのテーマは「心房細動と心原性脳塞栓症」を取り上げた。

2. 学術集会プレスカンファレンス

第76回学術集会の企画内容をプレス向けに説明する会合として、東京でプレスカンファレンスを開催した。

3. 学術集会市民公開講座

第76回学術集会会期中に、循環器病や生活習慣病、命の大切さについて「病からの再生」として講演とコンサートを行った。

4. 禁煙ガイドブックの販売

禁煙指導のための教材として使用する「禁煙ガイド Passport to Stop Smoking」の販売をおこなった。

5. 禁煙HPリニューアル

2002年作成HPを、デザイン、サイト構成を含め一新した。保険診療の導入や禁煙内服治療などの新たな情報、また学会員の禁煙意識調査や循環器学会研修施設・研修関連施設における禁煙化・禁煙治療実

施についてのアンケート調査を行い、その結果を掲載した。

6. 禁煙推進・心肺蘇生法合同市民公開講座

第76回学術集会期間中に、禁煙推進・心肺蘇生法に関する合同の市民公開講座を開催した。

7. AED設置・配置基準に関する提言の検討

標記の提言の文章について検討を行った。

8. AED設置場所指示マーク作成

病院内などでAEDの設置場所を案内する指示マークを作成し、ホームページに掲載した。

9. 一般市民向けサイト「コール&プッシュ」英語版の作成

人工呼吸を省略した心肺蘇生法を推奨する一般市民向けホームページコンテンツ「コール&プッシュ」の英語版を作成し、世界へメッセージを発信した。

10. 診療報酬に関する調査

循環器分野における診療報酬の実態を調査するため、主にDPCの実態及び診療報酬改定後の影響について調査を行い、必要な要望等を関係各所に行った。

11. 医療安全に関する事業

- (1) 医療安全・医療倫理委員会から分離されたため、当委員会でを行う業務について検討し委員会内規を作成した。
- (2) 委員会内規内の委員会業務内容に沿って、裁判所からの鑑定人推薦依頼に対応した。

●その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 一般社団法人への移行

新しい一般社団法人制度への移行のため、定款案の作成や関連する下部規定を策定し、理事会・評議員会・総会で承認の上、2011年11月に内閣府への移行申請を行った。各規則等については、規約審議部会で検討を行った。

2. 利益相反委員会

「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」の作成。臨床研究の利益相反に関する共通指針に基づく、本学会細則を検討作成し、循環器学の進歩向上を図り、もって学術の発展に寄与することを目指した。

3. 団体保険制度

本学会会員が有利な条件で加入出来るよう、勤務医師賠償責任保険及び総合補償保険について団体契約

を結ぶ。

4. 調査委員会および事務局あり方検討委員会

調査委員会では、海外旅費支給にかかる支出、WCC招致に関する支出、APSCにかかる支出等について、学会内外を対象に調査を行い、必要な対応を取った。また関連して学会事務局の問題点確認と今後の方向性について検討するため、事務局あり方検討委員会を設置して検討を行った。

5. 代議員選挙の実施

現在の評議員の任期満了に伴い、2012年度就任の代議員選挙を実施した。

Circ. J. Vol. 75刊行状況(編集委員会)

原 著 論 文			学 術 集 会 記 録 他			本文頁数 計
論文数	頁 数		抄録数	頁 数	そ の 他 頁 数	
Circ.J.(英文誌)						
No. 1	31	226	-	-	0	226
2	32	278	-	-	1	277
3	30	242	-	-	1	241
4	30	271	-	-	1	270
5	30	272	-	-	1	271
6	30	246	-	-	1	245
7	30	248	-	-	1	247
8	30	248	-	-	0	248
9	30	256	-	-	1	255
10	29	228	-	-	0	228
11	28	206	-	-	1	205
12	24	194	-	-	63	257
小 計	354	2,915	-	-	71	2,970
Supplement (CD-ROM)抄録集 I						
	-	-	2,921	2,921	-	2,921
合 計	354	2,915	2,921	2,921	71	5,891

『循環器専門医』刊行状況(専門医制度委員会)

	本文頁数	専門医News頁数	頁数計
Vol. 19 No.1	180	24	204
Vol. 19 No.2	172	15	187
Vol. 20 No.1	183	18	201
計	535	57	592

『循環器病の診断と治療に関するガイドライン2011』刊行状況(学術委員会)

	オリジナル版頁数	ダイジェスト版頁数	頁数計
2008-2009年度報告	48	25	73
2009-2010年度報告	79	-	79
計	127	25	152